

柘植地域

まちづくりだより

第203号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五一九一四〇二
電話 四五七八八八〇 FAX 四五七八八八三

発行日

二〇一七(平成)二十九年十二月十五日(金)

柘植地域俳句コーナー
雪敷きて
田の一枚の
大きかり

岩倉佳子

標語【市長賞】

標語 悪口は 言葉のは物 やめようよ

小学生の部 柘植小学校5年

藤島 華怜さん

市長賞

入選

中学生の部 「なかまをつくる」それが差別を なくすカギ。 柘植中学校1年 松浦 剛士さん

差別をなくす強調月間

二〇一七年度

詳しくは、伊賀市発行の広報やパンフレット等
をご覧ください。

柘植地域児童生徒の
入賞作品紹介



↑ポスター入選(小学生の部)

柘植小学校6年 梅田 凜さん

☆私の願い☆

人が、笑顔になれるのは、幸せだからと思います。私は、全ての人が、幸せになって心に笑顔の花を咲かせてほしいと、思っています。そして、その幸せで周りの人も、幸せにしてほしいと思います。そんな風に、みんなで笑顔の花をたくさん咲かせてほしいと、願っています。



↑ポスター入選(中学生の部)

柘植中学校1年 松山 翔洸さん

☆私の願い☆

友達はみんなぼくの大切な宝ものです。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

みんなで築こう 人権の世紀
~考えよう相手の気持ち
未来へつなげよう
違いを認め合う心~

法務省の進める第69回人権週間

では、上記の啓発活動重点スロ

ーガンの下で、

全国各地で取り組

まれています。

作文【優秀賞】

題名 「差別をなくすなかまを増やしたい」

小学生の部 柘植小学校6年

川口 夢生さん

題名 「三年生になって決意したこと」

中学生の部 柘植中学校3年

松田 藍年さん

優秀賞

なるほど!そうか! 柘植中じんけん集会

11月21日(火)午前、柘植中学校で、伊賀支所が支援する柘植中人権集会所が開かれました。生徒のみなさんは、保護者や地域の人々とともに、関西外国語大学明石一朗さん(写真)の「心の窓を少し開いて身近な人権を考える」と題したお話しをうかがいました。



生徒のみなさんは、その後、8つの分散会に分かれて話しを深めていました。



各区、人権同和問題地区別懇談会の充実を!

10月24日夜、各区啓発推進委員ならびに区長、小中学校の担当者を対象に、伊賀支所主催で各区の取り組み中間報告会が市民センターで開催されました。恒例の各区交流の後、平成28年12月に施行された「部落差別解消法」について人権政策・男女共同参画課長や支所人権担当職員から説明していただきました。各区で年度内の取り組みを深めていただき、2月5日の最終報告会に臨んでいただければと考えます。

本物の音色を味わおう!

教育文化部会

恒例になりました「ふれあいコンサート」が11月26日(日)午後2時から市民センターで開催されました。(参加者約20名) 毎回、みなさんに「本物の生の音色」を楽しんでもらおうと教育文化部会で企画をしています。



今回はピアノとフルートの共演で、関西地区や名古屋地区で演奏活動を行っているお二人をお招きしました。お一人は、伊賀市出身のピアノリスト佐山舞香さん。もうお一人は地元で2年間在住していた松本亜沙美さんのフルートの音色と技巧で楽しませていただきました。



曲目は「亜麻色の髪の乙女」「情熱大陸」「天城越え」などクラシックから演歌まで多くの曲が演奏され、途中、全員で「上を向いて歩こう」を合唱…。終始和やかに行われました。



第15回柘植の斎王群行 写真コンテストと 俳句大会の表彰式

斎王群行実行委員会

12月5日(火)午前、写真コンテストと俳句大会のそれぞれ優秀作品を表彰する会が市民センターで行われました。



写真コンテストの審査会は11月17日(金)午前、柘植地区市民センターで二科会写真部会員である坂尾富司さんをチーフに厳正なる審査を行いました。

斎王群行俳句入選作品

特選

斎王の袂のたもとと小鳥くる

伊賀市柘植町 松尾 紀子

(評) 群行途上の斎王にとつての重要な儀式は袂であった。中柘植の斎宮芝は二つの川の落ち合つ地点にあるのも、そのことからかもしれない。「小鳥くる」が明るくて良い。

柘植地域まちづくり協議会賞

斎王の伊勢はるかなり彼岸花

大阪府守口市 阪上 陽三

(評) 京からはるばると伊勢を目指しての斎王の旅。おりからの道の辺りの彼岸花の赤は斎王の目を慰めたのだろうか。中七の「伊勢はるかなり」思いがある作。

中日新聞社賞

斎王の袂の綺羅や野菊咲く

伊賀市柘植町 岡島 千秋

(評) きらびやかな斎宮の衣装に里人の目は、きつとくぎ付けになったことだろう。野菊がせてもものおもてなし。

入選

群行をはねに透かして赤とんぼ

四日市市八千代台 伊丹 余一

斎王のまなごしに揺る秋桜

伊賀市柘植町 中西 澄子

群行の葱華輦揺る赤のまま

伊賀市柘植町 吉岡 好子

晴れ晴れと笑まふ斎王鴉高音

伊賀市柘植町 中森 三津子

斎王の袂の水辺小鳥来る

伊賀市柘植町 西野登志子

(選者…俳誌「山繭」主宰 宮田正和氏)

俳句大会評

選者…宮田正和

今年で十五回を重ねた柘植の斎王群行、年々関係の方々の熱意で盛大となる感があり、大変喜ばしいことである。

さて、俳句の方は少し間をおいての締め切りで、充分推敲された作品揃いで難しい選であった。

ただ、こうして回を重ねると気を付けなければならぬ事は、作品がパターン化することで、一度より二度、三度と深まることをこれから期待させて頂く次第です。



第13回伊賀市スポーツ大会で グラウンドゴルフフットボール健闘

スポーツ実行委員会

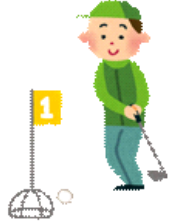
11月12日(日)、スポーツ大会グラウンドゴルフ男子の部に柘植地域として出場。参加22チーム中13位と健闘しました。

出場いただいた方々を紹介(左写真)し、ご健闘を称えます。お疲れさまでした。



山本武志(岡鼻区) 岡田進(柘植青葉台区) 山下勤(野村区) 藤井克巳(野村区) 梅田和秀(野村区) <敬称略>

来年度は、柘植地域として他の競技にも多数参加したいもの。出場を期待しています。



自主防災合同訓練をふりかえる

自主防災実行委員会

「世界津波の日」の11月5日(日)午前、三重県総合防災訓練に合わせて柘植地域の合同防災訓練を実施しました。

午前8時、各区は行政無線の連絡により行動を開始、安否確認と対策本部への報告の後、各区が計画した住民参加型の訓練を主体に地域防災力の向上を図りました。

その中で今回、小杉区が県・市訓練に連携した「緊急サイン設置訓練」を実施しましたので紹介します。

写真のようにブルーシート3枚を使ってL字型の緊急サイン(約10m×4m)を表示、ヘリコプター側はサインを確認したら上空で旋回とライトで合図し、それを確認した住民側はライトによる合図を送り返すというものでした。



ところが、事前の計画通りにヘリコプターが来訪しなかったため(遠くから確認して帰還)、達成感に乏しく中途半端な訓練になってしまいました。

しかしながら、今回の訓練は柘植地域としては三重県や伊賀市を交えて実施した初めての訓練であり、実災害時、緊急物資の要請手段としてこのような方法があると認識できただけでも有意義な訓練でした。そもそも私たちは、訓練の為に訓練を行っているのではなく、実災害発生時、住民として災害に対処する術(すべ)を学ぶべく訓練をしているという大前提を考えれば、小杉区が実施した訓練は、賞賛に値するものだったと考えています。

黒豆特産品事業よりお知らせ

特産品創出事業実行委員会

今年も柘植地域の皆様に特産の黒豆を提供すべく頑張ってきましたが、今年は夏場の天候が極めて不順で、圃場の中起こしが十分できない状態のまま、雑草が伸び放題になり、黒豆の苗が雑草に負けてしまい生育がたいへん悪くなりました。結果、12月2日(土)に収穫作業を行いました。収穫量が極めて少なくなりました。



年末の黒豆販売を楽しみにしていただいていた多くのみなさまには、心よりお詫び申し上げます。

十タネの栽培などで、柘植地域の環境美化を

生活環境部会

10月中旬、霊山のふもとの圃場に十タネの種子をまきました。荒廃地になっていた水田跡を耕し、今年度初夏にコスモスなどで実験栽培しましたが、鳥獣害等により残念ながらうまくいきませんでした。今回の十タネは伊賀市農林振興課や伊賀地域農業改良普及センターが支援していただき、順調に生育しています。



部会として柘植地域に増えている荒廃地等の環境美化に取り組もうという方々の輪を広げていきたいと考えています。

ふるさと会館いが

複合化計画案、示される

ようやく運営委員会

11月30日(木)夜、市民センターで、伊賀市行政当局より11名が来訪、まちづくり協議会運営委員会に対して、『最適化計画』をもとにした、ふるさと会館いがの複合化について、具体案を図面に示して、これまでのいきさつやこの図案に至った理由を説明していただきました。市の考えを聞いた後、さまざまな観点から質問や意見のやりとりを約3時間かけて行いました。少なくともこの原案(下図)のまま、



西堀参与、松本伊賀支所長、田槇財務部長ほか、管財課、行財政改革推進課、文化交流課、いがまち公民館等、関係する行政担当者11名が説明と意見交換にお越しになりました。



↑ 行政当局が示したふるさと会館いが複合化図面案

拙速に計画を進めることは「住民不在のまちづくり」となってしまうことを十分ふまえ、今後の計画を住民とともに考えていくことを要望しました。
※会議内容(資料を含む)の詳細については、各運営委員までお尋ねください。



まちづくりを進める上で、「調査」の重要性

をあらためて伝えたい。

現在、人権同和部会において、今年度の事業計画に位置づけられた「住民人権意識調査」が行なわれています。

当初の予定では、いがまち3地域が一斉に行う予定でしたが、都合で柘植地域が先行する形で実施しています。

内容等については、人権同和部会「さあ、みんなで、考えよう」に掲載されています。

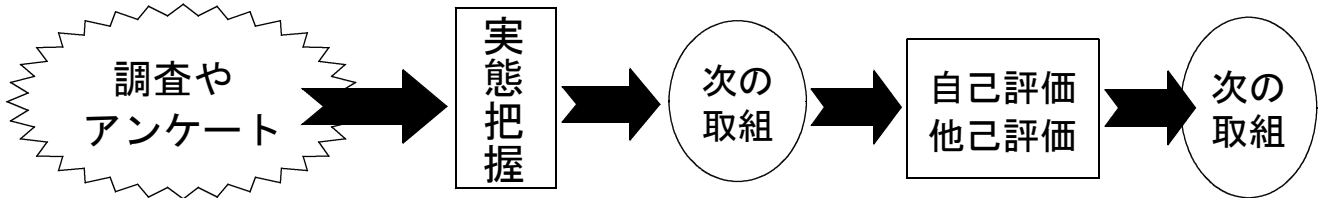
が、平成27年1月に実施された伊賀市民意識調査との比較分析を行い、柘植地域の課題や取り組みを明確にするためのものです。



→ 市民意識調査 概要版

「調査」については、人権分野だけではなく、1年前(平成28年11月)には、福祉分野で「地域で安心して暮らすための調査」を社会福祉協議会の支援の下で実施しました。また、2年前(平成27年12月)には、まちづくり活動への関心度や公共施設の将来展望などを問う「まちづくり住民アンケート」を実施しました。

「基本協定書」に基づく行政からの調査依頼も多数あり、そのほとんどは区長部会を通じて実施しています。ページ中段の2つの調査についても将来のために重要な調査です。このように「調査」は実態を把握し、次の手立てを考えるために不可欠です。



農業振興地域の整備に関する法律に基づく「農業振興地域整備計画」の総合的な見直し調査の実施

12月4日午前、農林振興課より農業委員・最適化推進委員、各区区長等を対象に、5年に一度の「地域整備計画」の見直し依頼(基礎調査)説明会がありました。

この「計画」は、農用地区域などを指定しているもので、各種制度の補助制度の対象とすることや、農地転用の抑制を行うことなどと深い関係があります。今回の調査はより地域の実情に即した「計画」にしていく目的のもので、各区単位で相談の後、2月中旬をメドに市へ提出するものです。

土砂災害防止法に基づく基礎調査が柘植地域で行われます

急傾斜地を中心に、
いざという時に避難できる体制をつくるために…
どこが危険なのか？
どういう時が危険なのか？
どこに逃げればいいのか？

このことを行政は「知らせる努力」、住民は「知る努力」をしていくことが重要ということで、レッドゾーン、イエローゾーンを明確にするための調査事業(三重県伊賀建設事務所)が、今年の12月中頃～平成30年10月末をメドに行われます。

もの)をお届けします。(西田方計)

★☆☆事務局だより☆☆★

▼シャコバサボテンが満開。早くも一年を振り返る時期になりました。▼

事務をしていくと、ときとして過去の資料を見直さなければならぬこととあります。役員任期2年ということもあり、記録が整理されていないと「あれはどうだったかな？」ということになりがちです。ですので資料を整理しておくのは事務局の重要な業務でもあります。しかし十分できていないのが実情。「あの資料はどこにしまったかな？」と探し回ることも多々あるのです。そんなとき、役に立つのが『まちづくりだより』…。なんらかの手掛かりが見つかります。創刊号から「ななめ読み」で読んでいくと柘植地域のまちづくりの歴史がそれなりにわかります。写真入りの記録は記憶をたどるには貴重なもの。▼最近、インターネットのおかげで、ホームページに保存できますので、超便利。(ページ下の欄外にあるアドレスをご覧ください。)

▼とこころで次号は新年号。1年間23回のご愛読ありがとうございます。少し早いですが、一年間の感謝を込めて…、また柘植地域にとって新しい年がさらなる幸せな年となりますことをお祈りして今年最後の『まちづくりだより』(6ページもの)をお届けします。(西田方計)